



令和4年6月30日(木)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だより

7月号

一列に整列？

校長 河崎 晃二

梅雨とは思えないくらい暑い日が続きますが、子供たちは元気に学校生活を送っています。今年、今まででできなかった水泳指導が3年ぶりに行われることになりました。これまでの水泳指導とは違って、学級ごとに行い、3人指導の体制で実施いたします。また、指導の時間も45分と短くなります。水泳の時には、子供たちは当然マスクをしません。隣の人との間隔を取り、声を出さない静かな水泳の時間となります。でも、久しぶりに入ったプールに、どの児童の顔もにこやかな笑顔でいっぱいでした。

*

さて、6月の末から7月上旬にかけて、「マーキュリー」「ビーナス」「ムーン」「ウラヌス」「マーズ」「ジュピター」「ネプチューン」「サターン」の順に一列に整列します。これって「セーラー戦士？」と、お母様方の中に思う人がいらっしゃるかもしれませんね。実は、これは惑星の話です。明け方の東から南の空にかけて、地球以外の惑星が全部一列に並んで見られるそうです。ただし、水星（マーキュリー）は地球の内側を回っていて、太陽に最も近い惑星のため、水平線近い場所でしか見ることができません。日の出時刻の1時間～30分前の30分間がチャンスだそうです。また、天王星（ウラヌス）と海王星（ネプチューン）は肉眼で見えるのは難しいので、望遠鏡が必要です。水星、金星（ビーナス）、火星（マーズ）、木星（ジュピター）、土星（サターン）は、肉眼でも確認できます。この中で一番明るい金星を目印にすると、他の惑星が探しやすいそうです。

私も実際に見てみたいと思い早起きをして探してみましたが、まわりに高い建物が多く、また、街灯などの明かりの影響で、星がよく見えませんでした。屋上などの見晴らしがよく、街の明かりに影響されない場所を探さないと無理なようです。残念ですがあきらめることにしました。しかし、子供の頃、星座版を片手に夜空を眺めていたことを思い出しました。ちょうどその頃、アメリカのアポロ計画が進行中で、宇宙に関する話題が豊富でした。6年生の時には大阪で万博が開催され、月の石が展示されました。

あれから随分と長い月日が流れ、宇宙に関する謎が少しずつ解明されてきています。人間の想像力と継続する力の大きさを感じます。一人では解明できないことでも、何人もの人が継続して積み重ねることによってなしえています。これからも研究を積み重ね、子供たちが大人になるころには、また新たな謎が解けていることでしょう。

*

例年より早く梅雨が明け、いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みがやってきます。その前に、1学期をしっかりと振り返り、学習や生活のまとめをして2学期につなげていきます。